

動物保護センター 建て替えを視野

◇ 神奈川県 ◇

設備など「あり方検討会」設置



動物愛護に向けた今後の取り組みについて
担当者と意見を交わす党神奈川県議団

神奈川県は今年度、「神奈川県動物保護センターあり方検討会」(鳥海弘会長)を設置した。

県動物保護センターは、

動物愛護精神の普及啓発や捨て犬・猫などの防止、動物取扱業に対する指導などを主な業務としている施設。1972年に開設され

たが、施設の老朽化が著しい。

このため、公明党の西村恭仁子県議は昨年12月の本会議で、「収容している動物を取り巻く環境を整備することは大変重要な課題だ」と訴え、同センターの建て替えを進めるよう提案。黒岩祐治知事も建て替えの必要性を認め、同検討会の立ち上げに結び付いた。

検討会は、動物愛護に取り組む女優の杉本彩さんら有識者や専門家など10人で構成。動物愛護管理行政の中核施設である同センターが備えるべき設備や、実施すべき施策などについて審

議し、県に報告する意見を今年度内に取りまとめる方針だ。

なお、県保健福祉局によ

ると、第1回の検討会は今年月9日に開かれ、同県における動物愛護事業について審議が行われた。